



森と水の源流館 だより

February, 2010 vol.86

電話)52-0888 fax)52-0388(水曜休館)

残しておきたい川上村の山言葉 其の二「けんずい」

意味：間食。現場で山仕事の前に食べる朝食。

※川上村の方言を調査しています。言葉の意味や使い方などについてのご意見をお待ちしております。

ナガレヒキガエルのレプリカ登場！！

吉野川源流を代表する生き物といえば、ナガレヒキガエル。その精密レプリカが今年度より館内「源流をめざして」のコーナーに展示されています。制作は両生・は虫類のレプリカ制作で有名なカエル工房さんです。ナガレヒキガエルのレプリカは国内では見ることはないと思います。ご来館の時にでも、よく観察してみてくださいね。



ナガレヒキガエル：全長は成体で7-17cmほど。1976年に大台ヶ原山産の標本を元に新種とされました。中部地方西部と近畿地方の山間部にのみ生息しています。4-5月に溪流中で繁殖します。世界的にもめずらしい溪流中で繁殖を行うヒキガエルです。

川上村では源流部の森林に生息しています。本種の生息地を守るためには、源流部の安定した森林環境を守ることが大切です。

ニホンヒキガエルとは、こまかくが不明瞭で手足が長いことで区別できます。

▼イベント案内 【吉野川紀の川しらべ隊】 ▼

☆「紀の川中流の農業を知る」

水源地の村・川上から流れ出た水がどのように流れ、どのような人々のところに届くのか。今回は紀北地域の農家を訪ね、考えてみます。

- 平成22年3月5日(金) 9:00川上村役場発 17:00解散予定
- 内容：紀の川農協等の有機型農業の取り組み見学ほか
- 昼食：紀の川市「華岡青洲の里」にて健康バイキング
- 定員：20名
- 参加費：1,000円(バス代・昼食代込)

☆「蜻蛉の滝よろず自然観察会～冬越しの虫をさがそう！～」

伊藤ふくおさん(昆虫生態写真家)がやってくる！！
春間近のムシさんたちはどこに隠れているのでしょうか？
その他、小さな春をさがす自然観察会です。

- 平成22年3月13日(土) 10:00～15:00
- 講師：伊藤ふくお(昆虫生態写真家)
朝倉和紀(環境省吉野自然保護官事務所アクティブレンジャー)
- 定員：20名(小学生～※小学生以下は原則として保護者も参加のこととします)
- 参加費：500円(源流人会会員・川上小・中学生は無料)
※蜻蛉の滝現地集合・解散

いずれも、お申込み・お問い合わせは、森と水の源流館まで



1/31 もりみず探検隊「御船の滝氷瀑ツアー」開催



今年も凍らなかった・・・御船の滝氷瀑ツアー・・・しかも、雨・・・

それでも、70人弱の参加者の皆さんはもりもり館でシカ肉やアマゴのバーベキュー、団子汁、ぜんざい、甘酒と盛りだくさんなごちそうに舌づつみを打ち、笑顔いっぱい。最後は恒例の豪華賞品をかけて、ビンゴ大会を行いました。

今回のイベントには井光地区の皆さんをはじめ、川上村民、源流人会から多くのみなさまの協力をいただきました。この場をお借りして御礼申し上げます。



↑残った氷で滑ると楽しい！



↑今年も凍らなかった御船の滝ですが、ハイキングの後に見上げる滝はやはり、気持ちいいものでした。凍った証の残がいはいたくさんあったのですが・・・来年に期待！！



↑木炉に興味津々！



↑団子汁であったかあったか！



↑バーベキューに大満足！